

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年8月6日（月）

NO. 881号 本号3頁

日本教科書の道徳教科書の採択許さない！

2019年4月から使用する教科書の採択が始まっていますが、特に注目を集めているのが「特別の教科」とされる中学校道徳の教科書です。検定合格した8社のうち5社が、「思いやり」や「愛国心」など、心の中まで数値で自己評価させるものとなっています。どんな教科書がどんな目的で出版されるのか、注視していかなくてはなりません。

6月9日に開催された、横浜教科書採択連絡会主催の『心の中まで国のもの？～中学校道徳教科書 その内容と問題点を考えよう～』教科書学習会では、次の点が指摘されています。

◆道徳の教科化・中学校道徳教科書の問題点

- ①国が、懇意的に決めた「善いこと＝徳目」の羅列になるほかない。
- ②ほんとうは社会に問題があることを、子どもの心のあり方にすりかえる。
- ③労働を「奉仕」として神聖化。
- ④マイノリティの題材は、皆無でないがきわめて少ない。

◆そのうち、日本教科書が突出して問題点が多いと指摘されています。

日本教科書の問題点

- ① 他社より1単元あたりの分量が多い為、1コマでは終わらないか詰め込み授業にならざるを得ない。
- ② ジェンダーや家族のあり方として、「偉人」はみな男性。
- ③ 「植民地支配」という枠組みに触れずに「偉人」を紹介。
- ④ 本文とは無関係に、伊方原発の写真が掲載されている。
- ⑤ 検定違反とおもわれる安倍首相の演説が掲載されている。
- ⑥ 日本教科書の所在地は、ヘイト本で売上をのぼした出版社の晋遊社ビル内。



また、子どもと教科書全国ネット21は、7月16日に、これまで日本教科書の中学道徳教科書は「他社と比べても子どもに学ばせたくない内容を多く含んでいる教科書である」と指摘して来ましたが、さらに展示会などで日本教科書等の生徒に徳目の理解を自己評価させることの批判が市民、教職員から寄せられ、また、日本教科書の採択にむけた策動は看過できないものであるとして、談話「中学道徳教科書採択に政治介入を求める日本教科書の不法な策動は容認できない」を出しています。（同 ホームページ参照）

さらに、自由法曹団も8月1日付けで「道徳の教科化に反対し、学習権保障の観点から問題がある日本教科書の道徳教科書の採択に反対する」との意見書を発表しています。

横浜市教育委員会 日本教科書は採択せず、東京書籍を採択！

横浜市教育委員会は1日、定例会を開催し、2019年4月から使用する中学校用の道徳教科書に東京書籍を全員一致で採択し、日本教科書は不採択になりました。

今年の採択には、市民ら310人が駆けつけ、24人が直接傍聴し、残りは別会場で傍聴しました。

審議では、教育委員からも到達度を数値で自己評価することに対し、「自分のなかの理解度を評価するのは難しいのではないかと思う」などの意見が出されました。

定例会後、横浜教科書採択連絡会が報告集会を開き、声明を採択しました。声明は、日本教科書、廣済堂あかつき、教育出版の教科書を採択しなかったことなどを「正当な判断」と評価。また、市教育委員会が①初めて議案を傍聴人全員に配布したこと、②教育委員が9年ぶりに教科書名を挙げて審議したこと、③初めて定例会の様子を映像中継したこと、④教科書を採択する定例会を早期に公表したことを評価しています。一方で①各学校の教員の意見を聞かず採択したこと、②投票を無記名で行ったことを批判し、「公正・適正な採択」の具体化を求めています。

各地のとらえかた

山梨・見延町 平和を考える朗読と座談会を開催

7月29日、山梨県見延町の朗読ボランティア「千の風」は、町内で戦争体験を継承することで平和を考える朗読と座談会を開催しました。約100人が参加。

「平和の旅 命のバトンをつなぐ」をテーマに戦争の悲惨さを伝える図書の朗読の後、メンバーが沖縄を訪れた報告が行われました。「千の風」代表の笠井京子さんと、沖縄線で亡くなった山梨県関係者を悼んで沖縄に慰霊塔を建立した故山中幸作さん（現見延町出身）の孫の山中幸子さんが慰霊塔や平和の礎について語りました。



座談会は、見延町在住の日本原水爆被害者団体協議会員の佐野穂子さんと作家の江宮隆之さんも参加。佐野さんは、兵器禁止条約について「核兵器をいちばん多く持つアメリカとの話し合いで日本政府が会議を欠席したことに怒りをもった。日本は条約に参加してほしい」と話しました。

江宮さんは「沖縄や広島のことを考えれば憲法9条を守っていかなければならない。安倍政権が戦争できる国にするのは間違っている」と話しました。

笠井さんは「たくさんの方の思いをつなぎ、地域で平和を考えるきっかけになればと思います」と話しました。

東京・新宿 デモ規制撤回求めデモ 「公園規制は今すぐ撤回」

新宿区がデモの出発地点として使用できる柏木公園など4カ所の公園から1カ所に制限することに抗議し、撤回を求める市民らが、実施される前日の7月31日、新宿駅周辺で「区立公園使わせて！新宿アピールデモ」を行いました。主催は同実行委員会です。

翌日の8月1日からデモ使用の許可対象外とされた柏木公園に約300人が集合。委員会代表で石黒之俐子さんが「憲法で認められた表現や言論の自由を保障しないやり方を一日も早くやめさせるために、あきらめずに運動を続けましょう」と訴えました。

日本共産党の沢田あゆみ新宿区議は、立憲民主党、社民党など超党派の区議15人で区長に規制を撤回するよう申し入れたことを報告しました。立民・無所属クラブの三雲崇正新宿区議が、東京の二つの弁護士会が、憲法違反の疑いがあるとの会長声明を出していることを紹介しました。



集会後、参加者は、「デモって民主主義の基本でしょ?!」「規制すべきはヘイトデモだけ」などのプラカードを掲げながら新宿駅周辺をデモ行進しました。ダンス音楽に合わせたコールで、沿道の人々から大きな注目を集めました。

「夏の憲法講座」の国会報告と講演に、参加者「力もらう」!

憲法会議は29日、「夏の憲法講座」を東京都内で開催。日本共産党の穀田恵二国会対策委員長が国会報告し、渡辺治・一橋大学名誉教授が「安倍9条改憲の危険性と、発議阻止にむけたたたかいー朝鮮半島情勢激変、参院選を見据えてー」と題して講演しました。

参加した人々は、二人の報告と講演に「3000万人署名を集める力を貰った」等の感想を寄せています。それを紹介します。

○渡辺先生の話聞き、3000万人署名をさらに集めるための力を貰った。安倍政権のねらいや朝鮮半島の非核化の動きなど、分かりやすかった。署名を集める際の対話のヒントとなるような講演で、話を広げていきたいと思った。
(全商連 Aさん)

○安倍が何故これほどまでに憲法改悪、特に9条を変えることに執念するのか、改めてよく分かりました。3000万人署名、これからが大変ですが、頑張りたいと思います。

(足立区 Kさん)

○穀田さんのお話、渡辺さんのお話、たいへん勇気をもらいました。これから3000万署名達成も含め、あきらめずに取り組んでいきたいと思いました。

(K・Tさん)

○市民と野党の共闘が、大きな力になっていることがよく分かりました。草の根の運動、私たち一人ひとりの活動が大切なのだと思います。声かけられていない人たちに声をかけていくことを頑張りたいと思います。穀田さんも渡辺先生も、お話がよく分かり、また、やらなければいけないことが明確になり、また聞きたいと思っています。

(大田病院 Kさん)

○朝鮮半島での平和のプロセスを支え広め、この国で北東アジアの非核化をつくる大きな力をつくるーそれが改憲ストップ、3000万人署名の運動なのだ。そのために市民の連帯を広げ、市民と野党の共同をさらに「大きく、広く、強める」。そのために力をつくしたい。侵略戦争の中で、反戦、平和のたたかいを貫いた先人たちの志をつぐ、歴史的なたたかいに勝つために、学んだことをさらに深めたい。

(治安維持法国賠同盟 Eさん)



報告と講演のDVDを作成し、販売。ご活用ください!

夏の憲法講座 講演と国会報告のDVDを作成・販売!

夏の憲法講座で学んだことを、DVDを見ながら、仲間に伝え、広めましょう。
そして、学習した力で3000万人署名を達成して、安倍9条改憲を阻止しましょう!
夏の憲法講座は、「月刊憲法運動」9月号に収録しますので、合わせてご購入ください。

○講演 渡辺治一橋大学名誉教授

安倍9条改憲の危険性と、発議阻止にむけたたたかいー朝鮮半島情勢激変、参院選を見据えてー

○国会報告 穀田恵二衆議院議員・日本共産党国会対策委員長

市民と野党の共闘ー国会からの報告

▶ 頒価 1000円(予定価格) 送料別



申し込み先

憲法会議 FAX03-3261-5453 電話 03-3261-9007

お名前	送り先住所	電話	枚数